

遊休農地から町の名物を作り出せ！ 皆高 6 次産業プロジェクト

皆高6次産業プロジェクト

ー地域と協力して「3つのミッション達成」を目指します！ー

ミッション①ー町の農地を活用し、**じゃがいも栽培を成功**させよ！（1次産業）

ミッション②ー地元企業と協力し、**新たなお土産商品を商品化**せよ！（2次産業）

ミッション③ー販売活動から利益を創出し、**ビジネスとして成立**させよ！（3次産業）

皆野高校イメージキャラクター
「みなちゃん こうくん」



なんちゃって!?みそぽてサブレ

皆野高校生の開発商品！秩父のソウルフード「みそぽてと」をサブレにしちゃいました。
この商品には、皆高生が町の遊休農地を活用して栽培したじゃがいもを使用しており、
みその風味が香る甘じょっぱい味は、一度食べたらやみつきになること間違いなし！
1箱10枚入りで、価格は**500円(税込)**です！地域イベントに出店して販売しています。



そもそも 6 次産業とは？

1次～3次産業までを融合すること、つまり**材料の生産から、商品の流通まで、すべての過程を生産者が担うこと**を指しています。
イチゴ農家が規格外の作物を使いジャムを製造・販売するケースや、
もともと酒屋を営んでいた事業者が、ブドウの生産、ワインの醸造を行うケース等、様々なケースがあります。



遊休農地 Q&A

Q1 遊休農地って何？

遊休農地とは、農地法によって定められた「**現在使用されていない、もしくは利用程度がほかの土地に比べて低い土地**」を指す用語です。

Q2 どのくらいあるの？

2018年の農林水産省のデータによれば、日本には約9万8千haの遊休農地があり、**東京ドーム約20,920個分もの農地が活用されないまま**となっています。
見方を変えれば、それだけ有効活用のチャンスが眠っています！



プロジェクトのあゆみ

作物の栽培(1次産業)

商品製造(2次産業)

商品流通(3次産業)

事業の6次化

遊休農地でいもづくり

皆野町役場が管理する貸農園でメイクインの栽培をしました。栽培途中「何者か」にじゃがいもを食べられるアクシデントもありました…。無事に収穫をむかえ、なんちゃって!?みそぽてサブレの原材料になりました！



皆野町内で商品へ加工

なんちゃって!?みそぽてサブレは、埼玉県皆野町にある老舗菓子店「亀沢屋」で製造して頂いています！私たちも、製造体験とし皮むきとマッシュ作業をお手伝いし、1つ1つの商品にかかっている手間を体感しました！



お土産品の開発と販売活動

秩父のソウルフード「みそぽてと」をイメージしたクッキーのアイデアを実現！アイデアから商品化に協力してもらえ、企業探しまで皆高生が取り組みました！現在、地元のイベントを中心に、販売実習を行っています。今後、お土産品店等での常時販売も計画しています。



持続可能な取組へ

この取組から、利益を生み出して、ビジネスとして成立させる事で、持続可能な取組を目指しています。継続した取組から、私たちのような若者が、農業ビジネスに対して関心を持ち、持続可能な遊休農地の有効活用を広げることを目指します。

Instagram

販売予定等を発信しています。ぜひ、チェックしてください！



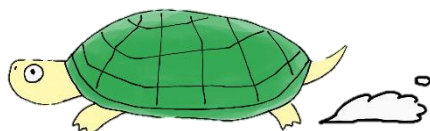
埼玉県立皆野高等学校



皆野高校

コラボ商品!!

なんちゃって!?



みそぽて サザン

亀沢屋さんとは..

埼玉県秩父郡皆野町に店舗を構え
100年お菓子を作り続けてきた老舗店

「四季咲く菓子処」

和菓子・洋菓子を扱っています



亀沢さん
HP



皆高生が育てた皆野高校産ジャガイモを使用しています!

とき
四季咲く菓子処



亀沢屋



税込 ¥500



皆高 HP

